



刊夕日一月一十
日刊 昭和十四年十月一日
発行所 石城郡 新井町 三丁目
電話 二二二二
支店 石城郡 新井町 三丁目
電話 二二二二
支店 石城郡 新井町 三丁目
電話 二二二二
支店 石城郡 新井町 三丁目
電話 二二二二

石双乾蘭の晩秋繭

総額卅四萬二千圓

前年に比して増量一割七分

石双乾蘭組合四倉前市場に於ける本年の晩秋繭取引高は二五二五口この數量二萬七千八百二十六貫七百四十匁で昨年六錢に比して一割七分を増量、價格では意外の騰高から三十四萬二千七百九圓二十三錢に達し前年總額より二倍半の増額であつて十月平均百二

貨物激増と貨車逼迫

總動員輸送強調旬間

今日から来る十日まで

鐵道では支那事變が東亞建設の段階に入りて輸送貨物激増しつゝあると年末に近づく増貨を控へこれに對して人手は益々不足を告げ且つガソリン統制による自動車荷の轉化等々限りある車輛で限りなき貨物や旅客の輸送は容易でなく此の打開のため今日から来る十日まで總動員輸送強調旬間を施行し運送店及び一般荷主と協力により貨車の運用能率増進、貨物受託の制限その他につき各團體等とも懇談を行ひ圓滑なる輸送對策を講ずることになつたが難關の切り抜け策として外部荷主に左記を望んでゐる

鐵道輸送強調で

座談と懇談會

總動員輸送強調旬間は別項所報の如く平譯では明日二日間の會議室に平地方各種團體代表の參集を求め強調についての座談會を開き次いで四日は同會を催すことになつた

貨物受付の

八時から五時までは鐵道では従來貨物の受付時間を午前六時から午後十時までとされてゐたが貨物の輸送處理上受付時間を短縮することに即ち受付を早くせば貨車不足に對する都合をつくるにも便宜のため今日から受付時間を左記に改正した

時間改正

▲數量二萬三千八百二十二貫七百二十匁、金額十三萬六千七百七十二圓八十一錢

輸送の強調に

▲午前八時より午後五時迄水戸運輸事務所では輸送強調旬間中の来る四日午後六時から平市公會堂に講演と映畫の夕」を開催し輸送の圓滑迅速に協力を求めるため一般にそれを呼びかける筈である

商業校新築祝賀

平商業校の新築落成式は既報の如く来る五日午前九時三十分から舉行される當日同校出身の商友會が祝賀會を催すに當り招待せる諸氏のうち出征

家族代理出席

平商業校の新築落成式は既報の如く来る五日午前九時三十分から舉行される當日同校出身の商友會が祝賀會を催すに當り招待せる諸氏のうち出征

支那那語
課長は科長でコーチア、係長のことを股長と稱へてクローチア、委員は同じく委員だがウエイユワン、省長は同一文字でシオンチア、縣長のことはシエンチアと呼んでゐる

興亞の礎

石城出身の勇士
海原正武伍長、石城郡内郷村の宮平太郎出身、保刈部隊下で中支戦線で活躍中の十月十三日名譽の戦死をなす、同君は赤しほ(三)さんとの間に長男正滿(三)君があり出征前まで東京の會社に勤務、實家には父な(母)とある(三)さんと兄弟妹六人あり長兄久一(三)さんは東京で働いてゐる

支那馬三頭で

柴崎源一
支那人は麥を多く準備せし、先生も秋の收穫を前に御忙はしむ事と思ひます、今年は大豊作のこと何より嬉しく喜んで居ります、小生の今居るところは見渡す限り畑です、水田は一つもありません、胡麻が黄色に實つて居ります、一枚の畑で三反歩ぐらゐります

戦地の便り

支那馬三頭で
柴崎源一
支那人は麥を多く準備せし、先生も秋の收穫を前に御忙はしむ事と思ひます、今年は大豊作のこと何より嬉しく喜んで居ります、小生の今居るところは見渡す限り畑です、水田は一つもありません、胡麻が黄色に實つて居ります、一枚の畑で三反歩ぐらゐります

白衣で内地歸還

鈴木榮
石城郡上野野村出身
前略、秋の候、その後は御變りありませんか、小生儀かねて入院療養中とのこ

防訓の美談

警察家庭群の活躍
石城郡赤井村の赤井第一班家庭防衛隊では同村々議船生演次郎氏が村内家庭群の活躍に對して寄附されたものから金六圓を添えて草野村長の感謝状を受けたが該金を其まゝ坂本淺治群長外五名の名で國防

訓練記念の献金

石城郡好間村の上好閣下組第八區家庭防衛隊では半島人の江島寛、森笠哲三さん等十七名で今次の訓練を終ると同時に一四乃至五十錢づつを融金し金七圓三十錢を國防献金した

ランプ使用豫想外
石城で四千六百戸
最多數は磐崎の五百五戸
石城郡農會が郡下に於ける燈火用石油配給に關しランプ使用戸數を各町村に照會報告を受けたところ豫想以上の多數で二千戸を超えるものと見込みを更に突破し今日までに渡邊、錦、田人組合、三坂組合四ヶ村の未報告を残して左記の如く實に四千四百三十八戸に及び右四ヶ村の總數を二百戸とせば四千六百戸に達することになる

戦病の市井氏

經過良好
大森氏へ書信
先生暫らくて御座います、先生御出征の後を追つて小生も及ばず乍ら御奉公、中支〇〇戦線までやつて參つたのでした、先生には御出征以來長年月傷病兵の御手當に御活躍の御無理から病を得て御歸省の由拜承致しました、御勞苦の程只々感謝の言葉も御座います、愚生元氣なりましたも此の程不注意からバラチアスを患ひ八月十一日より入院治療を續けて居ります、經過良好、再び戦線に立つべく鋭意醫養に努めて居ります、只銃後の皆様には申すべく思つて居ります、櫻丘會御有志の方々に宜しく(十月十六日中支〇〇病院にて)

支那馬三頭で

柴崎源一
支那人は麥を多く準備せし、先生も秋の收穫を前に御忙はしむ事と思ひます、今年は大豊作のこと何より嬉しく喜んで居ります、小生の今居るところは見渡す限り畑です、水田は一つもありません、胡麻が黄色に實つて居ります、一枚の畑で三反歩ぐらゐります

白衣で内地歸還

鈴木榮
石城郡上野野村出身
前略、秋の候、その後は御變りありませんか、小生儀かねて入院療養中とのこ

防訓の美談

警察家庭群の活躍
石城郡赤井村の赤井第一班家庭防衛隊では同村々議船生演次郎氏が村内家庭群の活躍に對して寄附されたものから金六圓を添えて草野村長の感謝状を受けたが該金を其まゝ坂本淺治群長外五名の名で國防

訓練記念の献金

石城郡好間村の上好閣下組第八區家庭防衛隊では半島人の江島寛、森笠哲三さん等十七名で今次の訓練を終ると同時に一四乃至五十錢づつを融金し金七圓三十錢を國防献金した

傳達中誤つて轉落左腕及び頭部に全治一ヶ月の重傷を負ひ市内大河内醫院で手當て中

ウエル萬年筆

新興ダイヤペン付
一、五〇以上
商工省主催「代用品工業振興展覽會」出品申込の各種代用品としてウエルタ、一、五〇以上、一、五〇以上、合格したる新興國策製品

魁文堂

電話三一三
四月後奉公を望み入閣の程の暴風で海岸一帶警備に毀はれた際死を略して岩壁崩壊の防止に當りまた今次の防空訓練には連日不歸宅で任務に精勵し團員の勳鑑として表彰されることになつた

石城郡内郷村の警防團第三分團警報係仲繪榮一(二)は廿七日午後九時半頃自轉車で警報

